

# 募集する共同研究の種類

## 戦略研究公募型

年間上限150万円

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した下記のテーマから希望の研究テーマを選択の上、具体的な研究課題を自由に設定してください。

- 1 COVID-19との共存を支える研究の提案
- 2 SINET6を活用した革新的基盤機能及びアプリケーション・サービスの提案
- 3 NII-SOCSのデータを活用したサイバーセキュリティ解析技術の提案
- 4 オープンサイエンス時代を見据えた大学における研究データ管理体制整備の提案
- 5 研究資源としての「データセット」の構築と活用基盤の提案
- 6 社会の活動の効率化を実現するCPS/IoTサービスとシステム基盤デザインの提案
- 7 不確かなAIやCPS/IoTシステムにおける品質エンジニアリング技術の提案
- 8 文化財のより深い利活用のための革新的モデルとアルゴリズムの提案
- 9 次世代インターネットのための基盤技術の提案
- 10 教育研究のデジタル革新を推進する技術や手法の提案
- 11 量子情報処理のためのアルゴリズム・プログラミングの提案
- 12 人間中心のAI社会を実現するためのシンセティックメディアに関わる基盤技術の提案
- 13 多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の研究の提案

## 研究企画会合公募型

年間上限80万円

下記の少なくとも一つを満たす新規の研究課題を自由に設定し、会合（交流会、議論、実習、打合せ等）を実施してください。情報学研究の枠組に拘らず、研究課題を自由に設定してください。

- 異分野と情報学との連携
  - 情報学同士の連携強化
  - 情報学の難問に挑戦する新たなグランドチャレンジ
- 会合は、共同研究者5名以上で実施してください。今回の公募では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大による影響を考慮し、会合の実施場所に制限を設けません。詳細は募集要項をご覧ください。

## 自由提案公募型

年間上限100万円

研究課題を自由に設定し、実施してください。



公募型共同研究担当 副所長

高須淳宏からのメッセージ

国立情報学研究所の公募型共同研究では、国内の研究者の皆様からのご提案を広く受け付けています。学術情報基盤の高度化や先端的な利用及び大学の機能強化に関する戦略的研究、異分野と情報学との連携を想定した研究企画会合、研究者の自由な発想に基づく研究を公募します。情報学に関係する萌芽的・探索的な研究の立ち上げや、新たなコミュニケーションの場の創出にご活用下さい。2023年度は、戦略的研究として多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の研究の提案を新たに募集します。また、昨年度から引き続き、国際共同研究を積極的に支援します。

